

第3回平和公共哲学研究会 2004-5-29 小林正弥
『もう一つの世界は可能だ』――世界社会フォーラムから学ぶ――
第3部 「平和への結集」問題提起
「平和のフォーラムかネットワークか連合か?――『もう一つの日本』への道」

1 「平和への結集」案

(1) 積極的ヴィジョン

公開討論会と第1回シンポにおける若年世代の意見

明暗イメージ転換の必要性

「真面目で正しいけれども、暗い平和運動」 「明るく、希望を示す平和運動」
戦争責任論・加害責任への反省 友愛、光、喜び - 「和楽」
かつては暴力問題（内ゲバなど） 非暴力、内面的平和（平安）

反権力・反対を強調する反戦運動 非戦運動

「反対」運動への反発が、対案・責任政党などの過度の現実性重視を招いた。

例：誘拐で人命が危険に晒されても、即時撤兵が要求できない民主党！

これに対して、理念と「大きな物語」を語る希望の運動の必要性

「もう一つの世界」への積極的（positive）平和運動

友愛世界 希望の光をもたらす積極的平和運動

改訂の可能性

「平和への結集」の最小限の一致点（重なり合う合意）

「反テロ」世界戦争、特にその先制攻撃論への反対。

イラク自衛隊派遣（派兵）反対。撤退要求。

自衛隊合憲・違憲論争にとらわれない「決定的違憲」

平和憲法（非戦憲法）と国際法の尊重。

平和な「もう一つの世界」への希求。

+ 反対運動 / + 積極的ヴィジョン

「平和への結集」の原理と形態

メタ・ネットワーク型連携 多中心的・多層的・相互乗り入れ型メタ・ネットワーク化

原理：

思想的には、人類の普遍的友愛による連帯、生命への畏敬による平和の実現。

平和な「もう一つの世界」への希求。

思想的・政策的差違や多様性の尊重。

市民ネットワーク。

非暴力・非カルト。

反対点の方が合意は容易。積極的ヴィジョンを入れることになると、その内容は多様であっていいけれども、内容の検討は必要に。研究会。

「結集」の精神

「小異を捨てて大同につく」 「求同存異」

「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」

2 「平和への結集」の形態

(1) 3つの可能性

平和のフォーラム...議論・熟慮・伝達のための公共空間形成、行動はなし。

Ex.この研究会やシンポなど。

平和の(メタ・)ネットワーク...緩やかな連携。中間。

平和連合...政治的領域に入る。意思決定や行動。

Ex.武藤一羊氏の「民衆連合」。

(2) 世界社会フォーラムとの共通点と相違点

世界大 / アジア / 日本 / 地域

規模と多様性の相関関係

(3) 思想的問題

- ・反グローバリズムが軸。共産主義・社会主義・社会民主主義との関係。
ネグリ=ハートのポスト・モダン共産主義(共和主義) 新共和主義
「帝国/もう一つの世界」 「私的帝国/地球の公共世界・友愛世界」
- ・共産主義・社会主義 / 社会民主主義 / 連帯経済・社会的経済 / 友愛経済

思想的多様性を確認した上で、相互を尊重して結集。

(4) 政治的問題

平和への統一候補・推薦候補等の提案、アピール。

「平和への結集」運動 「平和連合」の夢

政治との連携。 非政党的第3極 第1・2極へも働きかける。

(日本における小選挙区2大政党制論批判...英米モデルの神話、非民主的、恩顧主義効果の増大、戦前との政治循環、文化的・歴史的不整合)

- ・ 様々な「平和連合」の可能性。
平和運動の連合 / 新政党 / 連合候補 / 連合政権

参照：地球平和公共ネットワーク HP (ML 申し込みはこちら)

<http://global-peace-public-network.hp.infoseek.co.jp/index-j.html>

1. 山脇直司『公共哲学とは何か』(ちくま新書、最新刊)

2. 「派兵は決定的違憲・市民訴訟の会・山梨」

http://www.age.ac/~iken_y/

3. 山脇直司編、ライブラリ相関社会科学、新世社、近刊。

小林「帝国/もう一つの世界」の新共和主義的ヴィジョン ポスト・
モダン共産主義から地球の公共哲学へ」(仮題)